

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[36]歳、 勤続年数[18]年、 現場経験年数[] 年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 []
○当事者 B	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
○当事者 C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A が	自転車で帰宅途中に強風に煽られた「のぼり広告」が障害となり転倒し負傷した。	
経過 2			
経過 3			
経過 4			
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。避難・退避がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

安全衛生管理委員会で、公務災害発生事例として問題点と安全対策について検討を行った。
今回の事例を教訓に、自転車での走行は、「余裕を持って、ゆとりのある運転」を心がける。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

前方に何か障害があれば、減速または停止してかわす。

○指揮・情報伝達の対策について

公 務 災 害 発 生 事 例

情報指令課・署

発生日時	平成２０年　１月１７日（木）　　　　９時　２５分頃　　　　　（晴れ）
発生場所	〇〇市〇〇町〇丁目〇－〇先　歩道上
被災職員	A 消防士長
事故事例	平成２０年１月１７日（木）８時４５分に隔日勤務を終え、自転車で帰宅途中、〇〇市〇〇町〇丁目〇－〇先歩道上を走行中に、歩道と車道の間に設置された柵に取り付けられた「のぼり広告」が強風に煽られ自転車のハンドル右側に触れかかったものをよけようとしたところバランスを崩し転倒、負傷したものであり、合志病院にて受診、上記病名と診断され１月２５日に手術、２月５日より出勤したものの。
負傷程度	左鎖骨骨幹部骨折
問題点	・ 前方確認が不十分であった。 ・ 危険予知を怠った。 ・ 前方で急に障害が発生した。
安全対策	・ ゆとりある運転を心がける。 ・ 余裕を持って運転する。 ・ 何か障害があれば、減速・停止してかわす。